

銘柄分析レポート：含み資産株

1. はじめに

7月以降、ボックス圏での相場が続いています。日経平均のチャート（下図）もトレンドのはっきりしない状況であり、今後の展開が読みづらい状況です。

こういったときは、自分の都合で「上がる」とか「下がる」とか勝手に決めつけず、トレンドが明確になるまで待ったほうが賢明でしょう。

だからといって、何もしない訳ではありません。

次の上昇相場に備え、買いたい銘柄をピックアップし、チャートが然るべき形になるまでじっくり待つのが投資家の仕事です。

投資チャンスをじっくり待ちたい投資対象のひとつとして、含み資産株が上げられます。8月の夏枯れ相場で、含み資産を考慮すれば、大幅に割安な銘柄も再び増えてきました。上手く乗ることができれば、ひと儲けできそうです。

★日経平均株価チャート（日足）

